



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 (鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日 (12:30~13:30)

インスピレーションになろう

平成30年11月27日(火) 第2865回 例会 (本年度第16回)

創立 **60** 周年
2019年
4月20日(土)

12月18日(火)	クリスマス家族例会
12月25日(火)	年末休会
1月8日(火)	年男・年女スピーチ① 新年呈茶会
1月15日(火)	祝祭日休会



Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎http://www.tsuruokarc.org/

会長あいさつ

会長/武田啓之

先週20日、県土づくりの感謝状を頂いてまいりました。

感謝状

鶴岡ロータリークラブ殿
貴団体は公共土木施設の美化活動や安全性の確保に精励され美しく安全安心な県土づくりに多大な貢献をされました。

ここにその功績を称え感謝の意を表します。

平成30年11月20日

山形県知事 吉村美栄子

これについては、由良の海岸清掃を長年続けてきたということで、今まで携われてきた方々に深く敬意を表したいと思えます。メンバーの西川さんの華夕美日本海さんもこの賞を受けられていましたのでご報告申し上げます。

新入会員本間貴幸君の所属委員会はクラブ管理運営のSAA出席委員会と社会奉仕委員会です。

今週末から12月、師走です。慌ただしい月に入ります。これから雪が降ってきて、凍結による転倒など怪我等しないようにみんなで気をつけて行きましょう。

幹事報告

幹事/阿部純次

○国際ロータリー

ポールハリスフェロー+1回&バッチ

西川富美子君 阿部純次君

○ガバナー事務所

インターアクト地区外研修報告書

出席報告

会員数	30名
出席	23名
出席率	76.67%
前々回確定出席率	90.00%

RI 会長 バリー・ラシン ■地区ガバナー 上林 直樹

■会長/武田啓之 ■副会長/佐藤詩郎 ■幹事/阿部純次 ■会長エレクト/菅原成規
■会報委員会/樋波美智子・真島吉也・迎田 健・高橋弘美

事務局:山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

○鶴岡市青少年育成市民会議

第8回青少年ステージパフォーマンスの開催

日時:12月16日(日) 10:00~12:00

場所:鶴岡南高校 鶴翔会館

○日東観光

2019年度国際ロータリー年次大会

(ハンブルク大会)参加旅行募集のご案内

地方創生への取り組み

東京海上日動火災保険(株) 庄内中央支社長 高山裕司 君

会員の高山です。私は東京海上日動という保険会社に勤めています。会社では今後3つの大きな変化に備えるべきと考えています。

1つはAI等テクノロジーの進化、2つ目が人口動態の変化、3つ目が大規模自然災害の多発です。この3つが今後保険業界に降り掛かってくる大きなリスクだと考えています。

今年は連続的な大規模自然災害がかなり発生をしました。一番最初が6/18の大阪府北部地震です。その後7/3に台風7号、7/8西日本豪雨、7/26台風12号、8/23台風20号、9/4台風21号、9/6北海道胆振東部地震、9/30台風24号、10/6台風25号と今現時点でほぼ34万件の被害を受付しています。東日本大震災が21万件、熊本地震が7.5万件ですから、過去5年分のすべての事故を今年一気に受付したというのがこの自然災害の驚異・猛威です。海水温度が上昇して急激な積乱雲が発達することが大きな要因なので、今後これが収まることは無いだろうと言われております。保険会社に勤めて私も20年になりますが、保険会社に勤める人間の使命感を今一度考えさせられております。保険に入って頂いた方々にいち早く保険金を



お支払いして、生活を再建して頂くというのが保険会社の使命であるということを見ると、広域な大規模災害が起きたときの事故処理体制、保険金の支払い体制というのが、非常に脆弱であると改めて考えさせられています。

今回もう一つ気づきがあったのは、代理店さんがきちんとお客様にしかるべきリスクを伝えて正しい提案ができていくかということです。今回すごく多かったのは家財です。火災保険に水災をつけると高くなります。それで水災はほらないという方が多いのですが、昨今1時間あたりの雨量が80ミリを超えるようなゲリラ豪雨が増えていますから、所謂都市型の水災事故は起きやすい。それで家財が水に浸かっても全く保険金がおきなくて、1から家財を買い直さなきゃいけないというようなことが全国でおこっています。家財に保険が付いていないお客様や設備重機について保険が付いていない企業の皆様にDMを発送しています。あと休業保障に入っていないので会社を継続できなくて倒産されるというケースもあったので、もっともっと我々はいろんなリスクを想定してご提案をしていかなければならないと感じた次第です。

「地方創生ブックレット」をお配りしております。保険商品、保険料だけではもはや選ばれなくなってきていますので、いろんな付加価値をお客様にご提供しながら、いかにして選んで頂くかを日々会社では考えております。社会の課題、企業課題、個人の課題も含めて如何にその課題を的確に見極めて、解決策を考え出し提供するかが社員には求められています。本社に地方創生・健康経営室があり、そこで200人ぐらい働いています。保険会社は実をいうと保険料の8割以上を全国の地方からお預かりしています。なので地方が元気にならないと当然ながら業績は上がっていかないということで、地方創生にグループ全体で取り組んでいるところです。

鶴岡に来て鶴岡・酒田・三川・遊佐・庄内町というところとマーケットを分析してみたんですが、圧倒的に怖いと感じるのは人口減少です。昨年一年間で、庄内地域全体で3,516人減っています。鶴岡が1,569人、酒田が1,406人、三川町が90人、庄内町が280人、遊佐町が171ということで、このペースでいくと77年で人口ゼロになります。ですからこの減少をどう食い止めていくかという問題と、もう一つは労働人口の減少です。実は高齢化社会と言われていますが、そんなに高齢者は増えないと言われていて、何が一番変わるかというところと18歳以上65歳以下の労働可能人口が激減します。今、国では働き方改革とか、女性の活躍推進とか、外国人労働者の受け入れをやっていますが、その根幹にあるのは、労働人口が激減することです。健康経営支援とは、経済産業省が推奨している制度で、今いらっしゃる社員の方々が心身共に健康で長く働けるような会社の制度を作ってくださいというものです。今鶴岡市の求人倍率は2.6倍、

酒田も2倍を超えています。新しく従業員を採用するのは非常に難しくなっています。今後のリスクとしては、介護とか、ガンで離職する方々も相当増えてくることです。その中で企業としてどうやって人材を確保していくかというのは本当に喫緊の課題だと感じています。私共も山形の健保協会さんと連携協定を結び、企業様に出向いて健康経営の認定の支援をさせていただいています。

健康診断をちゃんと受けるとか、敷地内禁煙とか、いろんな認定項目がある中で、一つはメンタルヘルス。企業側は、従業員が安全に働く安全配慮義務が求められます。心身共に健康に働くための安全配慮義務を果たしているかどうかはメンタルヘルスの問題に出てきています。使用者側の労務管理リスクが相当厳しく求められるようになってきています。会社としてうつ病で休んだ人が職場に戻ってくるまでの所得補償をするなど細かいことも含めて健康経営という文言で推進されています。健康経営の認定を受けると名刺に健康経営優良法人と入れることができます。一番の狙いは、生産性の向上です。社員が働きがいをもって働くこと、その健康を会社側が気遣ってくれることによって生産性が向上し、何よりも業績が良くなる。それと同時に雇用の確保にも繋がり、有能な人材を確保しやすくなる。こういったことをご支援させていただいているのが今の会社の状況でございます。

あとは、小学校に行って防災の授業をしたり、いろんなことをやりながらとにかく地方の役に立てるようなことをやって最終的には備えを保険でやるための商品をご提案するということが今私の仕事のメインになっていると思っております。

全国でいろんな例もあります。海外に進出される企業様におかれては、全国・全世界に駐在員やグループ会社がありますので、そういった意味では保険とは関係なく何かご相談いただければ、何かしらの解決策をご提供できるかもしれないということで、頂いた話はすぐに回答を出さずに一旦持ち帰って何かできることはないかと考えて仕事をするように普段しております。そういう志なものですから、榎本さんが困ったときは、私もこうやってこの場に立って何度でもしゃべらせていただこうかと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員会報告

◆メイクされた方

佐藤孝子君 阿部純次君 武田啓之君 藤川享胤君
榎本久静子君 西川富美子君

スマイル

西川富美子君 先日、当館をご利用頂きましてありがとうございました。高山さんスピーチ、勉強になりました。ありがとうございました。

高山 裕司君 ご清聴ありがとうございました。

榎本久静子君 高山さん、急な会員スピーチありがとうございました。